

サッカーワールドカップにおける 体格とプレースタイルの関係

小林 隼人 (競技スポーツ学科 トレーニング健康コース)

指導教員 高橋 正行

キーワード: Medium activity, High activity

1. 諸言

2014年のワールドカップを制したのはドイツ代表であった。ドイツ代表は身長が高いチームでありながらパスをつなぐチームである。パスサッカーの時代は終わったと感じたがそれは間違いだったのであろうか。スペイン代表とドイツ代表のパスサッカーは何が違ったのであろうか。2010年のワールドカップではスペイン代表の優勝によりサッカーは体格や身体能力だけではないということは明らかになったが、2014年ワールドカップにおいて通用しなかったのも事実である。明らかな違いとしてはチームの平均身長である。そこで筆者は体格差と走行距離に着目して研究をしてみようと思う。

2. 研究方法

サッカーワールドカップ2014ベスト4のチームであるドイツ、アルゼンチン、オランダ、ブラジルと前回大会王者にして予選リーグ敗退となってしまったスペインを対象として研究を進めていく。ドイツ VS アルゼンチン、オランダ VS ブラジル、アルゼンチン VS オランダ、ドイツ VS ブラジルの試合データと、スペイン VS オランダの試合データを FIFA 公式ホームページのワールドカップ2014 データを参考にし、EXCEL にデータを打ち出し比較を行う。交代選手に関しては、対象から外しフル出場した選手のみ対象とし研究を進めるものとする。

3. 結果と考察

分析結果よりサッカーワールドカップ

2014 において優勝を果たしたドイツは、どのチームよりも走っていた。

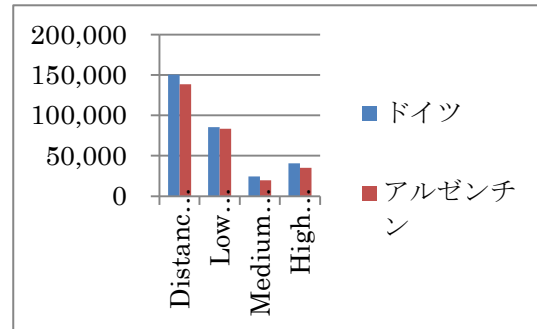


図 1 ドイツ VS アルゼンチンの走行距離の比較

「Medium activity」「High activity」の数値が高いということは相手よりも活発に動き続けているということになる。ただ長い距離を走っていたわけではない。相手よりも強い強度の運動を継続し続けたのである。

4. まとめ

サッカーという競技は単純に相手チームよりも走ることができなければ勝てない。サッカーにおいて走力がどれだけの武器になるのかわかったのではないだろうか。

引用・参考文献

- 1 FIFA.com <http://www.fifa.com/>
- 2 Mohr Met al. 2003
- 3 Di savo et al. 2009
- 4 JFA Technical news